

群大に「チーム医療」拠点

群馬大は21日、世界保健機関(WHO)と協力して「チーム医療」の普及を目指す研修・研究機関「多職種連携教育研究研修センター」(渡辺秀臣センター長)を開設した。世界に約800あるWHOの協力機関の中でも、チーム医療に特化した拠点は初めて。チーム医療は、医師や看

護師、理学療法士らが協力して高い医療サービスを提供する取り組み。群馬大は1990年代から医学部の課程に模擬実践を入れるなどチーム医療を重視した教育をしており、WHOの協力機関に指定された。今後はセンターに所属する教員らが国内外でチーム医療の研修を担当する。4

月にラオスで研修を行い、夏頃にはインドネシアなどの研修生を受け入れる予定。

同大の高田邦昭学長は21日、「優秀な人材を輩出し、群馬大の強みを増やしたい」と記者団に語った。